

# 平成20年度 全国学力・学習状況調査の結果概要

## 広島市立中広中学校

### 1 調査の目的

- (1) 全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。

### 2 調査の実施日 平成20年4月22日(火)

### 3 調査実施学校数(公立学校)等

区 分	調査実施校数(校)			調査実施者数(人)			
	国	県	市	国	県	市	学校
小学校第6学年	21,685	546	140	1,147,633	26,218	10,802	—
中学校第3学年	10,120	253	64	1,030,521	22,720	8,868	170

### 4 調査内容

#### (1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学)

##### 主として知識に関する問題〔A問題〕

- ◇ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ◇ 実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

##### 主として活用に関する問題〔B問題〕

- ◇ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
- ◇ 様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力 など

#### (2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

##### 児童生徒に対する調査

- ◇ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

##### 学校に対する調査

- ◇ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

### 5 各教科の平均正答率

#### 【小学校】

国語								算数							
A問題				B問題				A問題				B問題			
国	県	市	学校												
65.4	67.8	67.3	—	50.5	53.3	52.8	—	72.2	74.3	73.9	—	51.6	53.6	54.3	—

#### 【中学校】

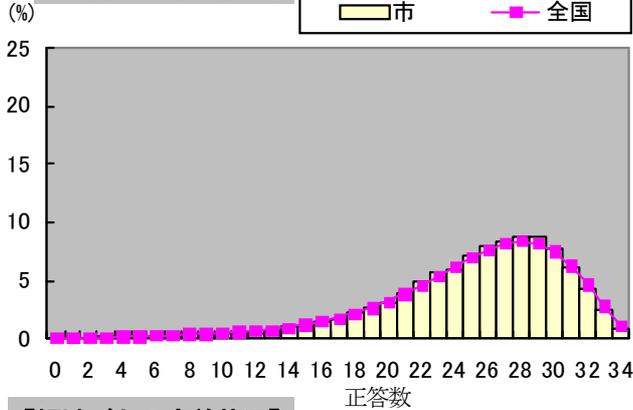
国語								数学							
A問題				B問題				A問題				B問題			
国	県	市	学校												
73.6	74.1	73.9	69.3	60.8	60.9	60.2	57.0	63.1	64.1	63.8	57.3	49.2	48.7	47.7	41.3

## 6 各教科の調査結果の概要

### 【中学校国語】

#### 国語 A

##### 【正答数の分布状況】



##### 【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話すこと・聞くこと	80.1	79.2	74.9
書くこと	55.2	53.8	48.8
読むこと	71.0	71.7	64.7
言語事項	75.2	75.8	72.4

##### 【問題形式による定着状況】

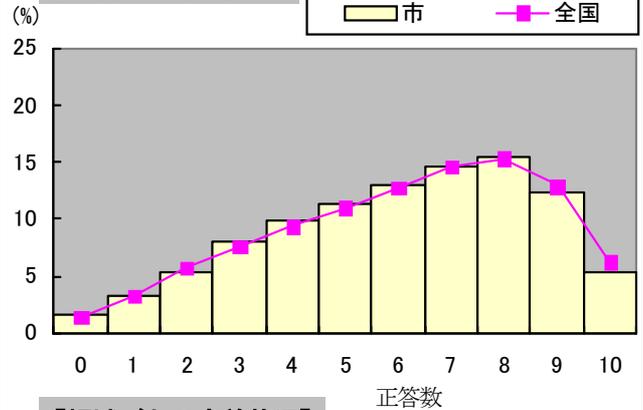
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	71.3	71.3	67.1
短答式	77.4	78.1	73.0
記述式	—	—	—

#### 定着状況

- 聞くことについては多くの場面で反復練習をさせてきたが、力として定着していない。
- 書く問題に対して無解答率が以前より下がってきているが、字数を多く要する問題に苦手意識がある。
- 文章の展開の仕方に即して内容を読み取る力がまだ弱い。

#### 国語 B

##### 【正答数の分布状況】



##### 【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
話すこと・聞くこと	—	—	—
書くこと	46.7	46.4	40.4
読むこと	60.8	60.2	57.0
言語事項	60.5	60.4	47.9

##### 【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	70.3	69.4	68.0
短答式	—	—	—
記述式	46.7	46.4	40.4

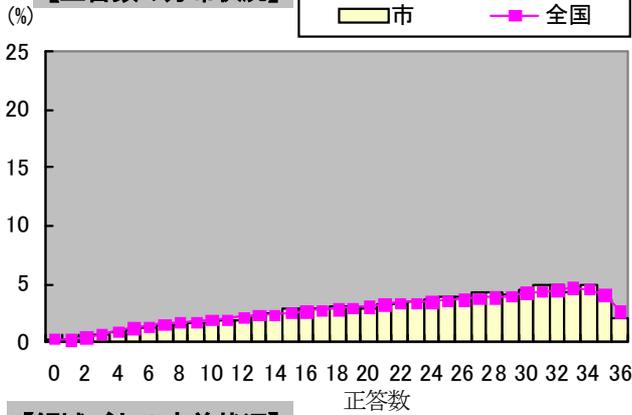
#### 課題

- 書く問題への苦手意識の克服を授業への発言から指導したい。
- 文章の展開をおさえながら中心的な内容を考えて読む力がしっかり定着できるように、授業中の発言や説明、意見や考えの表現の仕方を工夫したい。

【中学校数学】

数学A

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	68.0	68.8	64.4
図形	62.7	63.7	57.3
数量関係	58.6	58.8	50.0

【問題形式による定着状況】

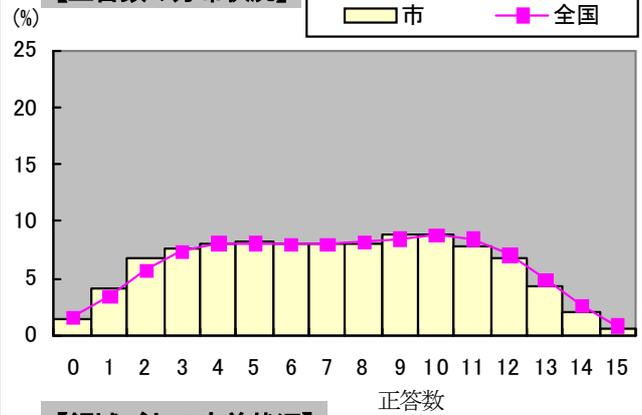
問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	61.8	61.6	57.0
短答式	64.1	65.5	57.5
記述式	—	—	—

定着状況

- 数式の短答式問題で全国平均正答率を上回っているものもあるが、多くの領域で下回っている。基本的な学習内容が十分に定着していない。
- 特に数量関係や筋道を立てて説明する問題の正答率は全国平均を大きく下回っており、苦手意識が強く定着しない傾向にある。

数学B

【正答数の分布状況】



【領域ごとの定着状況】

領域	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
数と式	54.2	52.8	43.9
図形	57.6	56.4	48.0
数量関係	44.7	43.2	38.1

【問題形式による定着状況】

問題形式	平均正答率(%)		
	全国	市	学校
選択式	55.2	53.4	46.0
短答式	62.5	61.5	54.9
記述式	35.3	33.9	28.2

課題

- 基本的な学習内容のより確実な定着を図るために反復学習が必要である。
- 文章を読み、問題の意図をつかみ、筋道を立てて考えていく力を付けなければならない。そのためにやればできる喜びを体得させ、粘り強く問題に立ち向かう力をつけさせていくことが課題である。